

施策7

生活習慣病の早期発見・重症化予防

糖尿病、高血圧、脂質異常症などの生活習慣病は自覚症状が少なく、そのままの生活を続けると、慢性腎臓病などの重篤な状態に進行する可能性があります。

生活習慣病の合併症で失明や人工透析が必要となる場合、個人の生活の質が低下するだけでなく、医療や介護に要する費用も増加するため、その対策への取組みが重要です。

目標

- 特定健康診査等の受診率及び特定保健指導実施率の増加
- 生活習慣病の疑いを健康診断等で指摘されたが放置、治療中断になる人の減少
- 生活習慣の改善意欲がある人を実践に繋げる取組み

取組みの方向性

- 生活習慣病は自覚症状が少なく、気づかないうちに進行し、脳や心臓、血管などにダメージを与えていくため、自己判断による治療中断者や医療機関の未受診者を増やさないための取組みを進めます。
- 生活習慣病対策の基本は正しい生活習慣であり、生活習慣の改善意欲がある方に向け、専門職等による支援を進めます。

指標

指標名	基準		目標 (R11年度)	出典
	値	年度		
血糖コントロール不良者の割合（男性）	2.1 (%)	4	1.0	特定健康診査
血糖コントロール不良者の割合（女性）	0.9 (%)	4	減少	特定健康診査
糖尿病が強く疑われる者の割合（男性）	19.6 (%)	4	16.6	特定健康診査
糖尿病が強く疑われる者の割合（女性）	10.3 (%)	4	7.3	特定健康診査
新規人工透析患者のうち原因疾患が糖尿病である割合	46.1 (%)	4	43.1	特定健康診査
収縮期血圧値の平均値（男性）	130.5 (mmHg)	4	125.5	特定健康診査
収縮期血圧値の平均値（女性）	127.7 (mmHg)	4	122.7	特定健康診査

脂質高値の者の減少（男性）	6.5 (%)	4	3.9	特定健康診査
脂質高値の者の減少（女性）	11.2 (%)	4	8.4	特定健康診査
メタボリック症候群の該当者及び予備軍の割合（男性）	52.5 (%)	4	49.5	特定健康診査
メタボリック症候群の該当者及び予備軍の割合（女性）	18.8 (%)	4	15.8	特定健康診査

< 基準 >

血糖コントロール不良：HbA1C \geq 8.0(NGSP)

糖尿病が強く疑われる：HbA1C \geq 6.5(NGSP)or 血糖を下げる薬又はインスリン注射が「はい」

脂質高値：LDL コレステロール 160mg/dl 以上

主な取組み

事業名	30,35 健診	区分	新規・充実・継続	
		所管課	保健予防課	
内容	40代より以前から生活改善に取り組む方がより高い予防効果が見込まれるため、特に自身の健康を見直す節目の時期（30歳、35歳）に健診を実施します。			
今後の方向性	健診実施にあたっては、区民の利便性を向上させ、またかかりつけ医を持つきっかけとなるよう荒川区医師会に委託し、区内医療機関での実施する方向で調整を進めます。			
子ども（0～17歳）	青壮年期（18～64歳）	高齢者（65歳～）	女性	

事業名	糖尿病栄養相談	区分	新規・ 充実 ・継続	
		所管課	健康推進課	
内容	医療機関から紹介を受け、糖尿病患者へアドバイス等を行う糖尿病栄養相談を実施し、糖尿病の原因となる食生活の改善を実施します。			
今後の方向性	医療機関からの紹介が適切に行われるよう周知啓発を強化します。			
子ども（0～17歳）	青壮年期（18～64歳）	高齢者（65歳～）	女性	

事業名	あらかわ NO! メタボチャレンジャー	区分	新規・ 充実 ・継続
		所管課	健康推進課
内容	自分なりの生活習慣改善の目標を立て、栄養や運動の講座で学びながら、自分に適した健康づくり法を身につけていく5カ月の区オリジナル健康づくりプログラムを実施するとともに、その修了者から、自主グループの育成を動機づけ、育成支援をします。		
今後の方向性	ICTの活用や民間事業者との協働を強化して、参加者に対するより効果的な事業を行っていきます。		
子ども(0~17歳)	青壮年期(18~64歳)	高齢者(65歳~)	女性

事業名	特定健康診査・保健指導	区分	新規・ 充実 ・継続
		所管課	国保年金課
内容	40~74歳の荒川区国民健康保険被保険者に対して、特定健康診査を実施しています。また、特定健康診査の受診結果から、特定保健指導対象者を選定し、健康状況に応じて「動機付け支援」または「積極的支援」を実施しています。		
今後の方向性	実施計画に基づき、区報やHPでの周知、一定の対象者に受診勧奨通知を行う等、受診率の向上を図っていきます。		
子ども(0~17歳)	青壮年期(18~64歳)	高齢者(65歳~)	女性

事業名	糖尿病重症化予防プログラム (糖尿病性腎症重症化予防)	区分	新規・ 充実 ・継続
		所管課	国保年金課
内容	糖尿病・糖尿病性腎症の重症化を予防するため、また生活習慣の改善により健康・生活の質を守るため、主治医と連携し専門職による保健指導(服薬管理・食事療法・運動療法)を実施し、生活習慣の改善を図り糖尿病重症化予防に取り組みます。		
今後の方向性	40代から50代の参加者数が少ないという課題があり、オンラインでの保健指導など、実施方法を工夫していきます。		
子ども(0~17歳)	青壮年期(18~64歳)	高齢者(65歳~)	女性

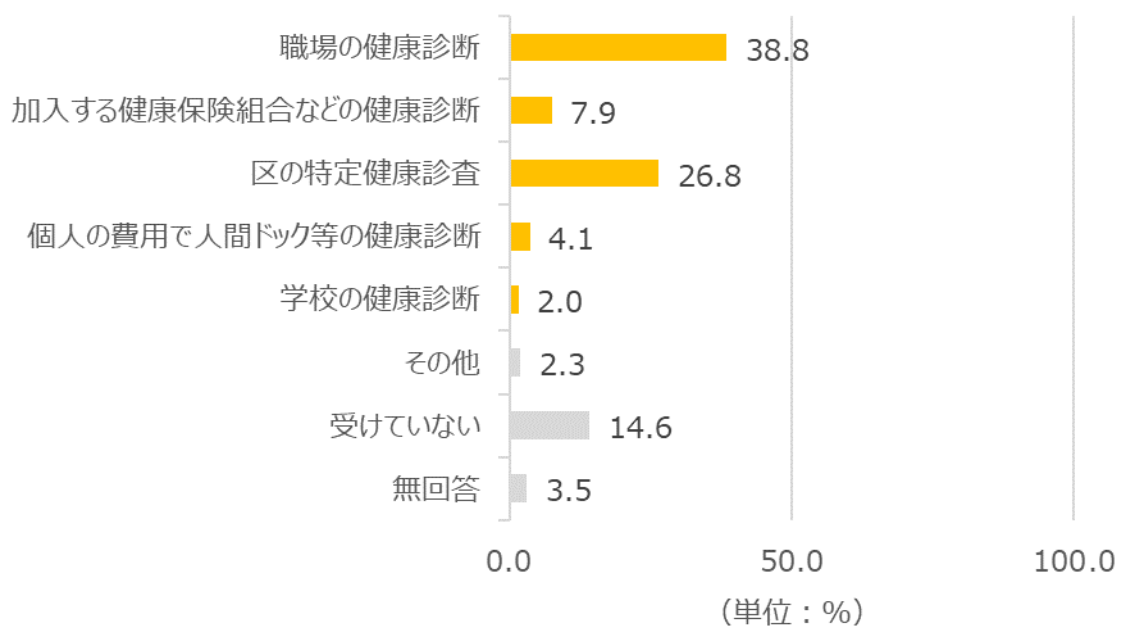
事業名	生活習慣病治療中断者への受診勧奨	区分	新規・ 充実 ・継続
		所管課	国保年金課
内容	高血圧、脂質異常、糖尿病のいずれかで医療機関を受診しているが、直近3か月に医療機関を受診していない方で、かつ特定健診を受診し健診結果に異常値がある方に受診勧奨通知を発送し、治療再開・早期治療による重症化予防を目指します。		
今後の方向性	通知内容等の検討を行い、受診率を高めていきます。		
子ども(0~17歳)	青壮年期(18~64歳)	高齢者(65歳~)	女性

事業名	医療機関受診勧奨	区分	新規・ 充実 ・継続
		所管課	国保年金課
内容	特定健診受診者で異常値を認めるが、医療機関の受診が確認できない方に受診勧奨通知を送付し、早期受診・精査を促します。		
今後の方向性	通知内容等の検討を行い、受診率を高めていきます。		
子ども（0～17歳）	青壮年期（18～64歳）	高齢者（65歳～）	女性

区民の健康診断の状況について

- 令和5年度に実施した荒川区政世論調査によると、1年以内に何らかの健康診断を受けている人の割合は79.6%となっています。

区民の健康診断等の受診状況



出典：令和5年度荒川区政世論調査